

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称： 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 理療教育課	種別： 就労移行支援
代表者氏名： 柴原 繁俊	定員(利用人数)： 168 (45) 名
所在地： 〒 359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1	TEL 04-2995-3100

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【中期計画～事業計画】

中期計画は理念や基本方針の実現に向けた内容となっており、5年を1タームとして策定されています。各課題は年度の事業計画と連動した形で整合性のある計画となっており、具体的な数値目標や成果を設定しており、改善のPDCAが定期的に展開されています。年度の事業計画は職員の年度目標に紐付いた形で設定されており、職員の検討内容をベースに検討され、実行可能な計画として策定されています。人事考課の職員個々の目標管理と直結している為、進捗状況の確認は人事考課と併せ行なわれ、それは中期計画の進捗確認まで連動して行きます。

(2) 【卒業後の進路指導】

卒業後の進路指導の際のコミュニケーションを充分行い、利用者の意向や障害の状況に合わせてマナー教育の時間や職場訪問を行い、働く意欲の維持・向上の為に支援を行っています。職域を開拓する事と併せ、実際のハリアスの現場を利用者と共に訪問し、本人のモチベーションを高める支援

(3) 【学習／余暇】

学習コースとしては、専門課程(3年)と高等課程(5年)が準備されており、基本的には授業の選択は利用者の意思で行なわれます。余暇やレクリエーション活動としては、ゴールボールや歩こう会・泳ごう会等が準備されています。毎日のホームルームに於いて地域のイベント情報等、さまざまな日中活動の情報提供が行なわれています。

(4) 【帰郷後のアフターケア】

卒業後の地域生活への移行や支援は、自立支援局のケースワーカーが現地を訪問して対応を行なっています。地元生活に必要な社会資源に関する情報や、学習・体験の機会を提供しています。又、必要に応じて地域の関係機関等とも連携・協力しています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【働きやすい職場環境】

労務管理は月次の報告業務としても取組みを行なっています。職員のメンタルヘルスについては、年1回ストレスチェックが行なわれるのと合わせ、管理部に相談窓口が設けられています。ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組みに関しては、年休は前年度以上取る、残業は極力減らす様、働きかけていますが、年休を取るの悪いと云う意見も一部にあり、中々組織としての取組みとして

(2) 【地域との協力関係】

地域のイベント情報等は所内の掲示板の利用等で利用者に提供しています。利用者が地域のイベント等に参加したいと云う要望があれば、職員等が支援を行う体制が整っています。地域の人々と利用者との交流の場として、年1回リハ並木祭を開催し地域の福祉施設も併せ参加を勧奨していますが、地域との関わり方に付いて、基本的な考え方を文書化する等はしていません。施設が存立する市との関係の中で、より協力関係を密にして行く様な働きかけが必要ではと感じます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、「働きやすい職場環境」と「地域との協力関係」について、ご指摘がありました。「働きやすい職場環境」については、教育機関としての性格もあり、年間を通じて時間割に基づく授業を行い、外勤も多いことから毎月安定して年次休暇を取得できることは難しいですが、8月、12月、3月の長期休業期間を中心に取得し、結果的には他課を上回る取得状況となっています。

また、地域との協力関係については、リハ並木祭だけでなく障害者スポーツの振興に関して、所沢市と連携して4年前からゴールボールの体験会を市内の全小中学校に呼びかけを行っています。昨年度は小学校のみ4校でしたが、今年度は中学校も含めて9校に増加しています。引き続き、地域との協力関係を築いていきたいと思っております。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙